

名古屋バロック音楽協会主催

器楽合奏講座

～バロック音楽を弾いてみよう! vol.6～

バロック、古典派、ロマン派 etc…

それぞれの時代に現代の楽器とは異なった仕様の楽器が使われ、
時代や国、地域によってもそれぞれ異なった演奏習慣、演奏法がありました。

バロック期当時の様式を取り入れたいきいきとした演奏に
私たちと一緒にチャレンジしてみませんか？

♪ 合奏講座

募集人数／20名程度

時 間／13:00～17:00

受 講 料／協会会員 7,500円・一般 9,500円・学生 3,000円

受 講 曲／マラン・マレ (1656～1728)

『トリオ・ソナタ ハ長調』

《対象楽器》

- ・弦楽器：ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス/ヴィオラ・ダ・ガンバ/リュート etc.
- ・管楽器：リコーダー/フラウト・トラヴェルソ/オーボエ/ファゴット etc.
- ・チェンバロ ※チェンバロのみ先着1名様とさせていただきます。

※弦楽器はモダン楽器でもかまいませんが、ピッチは $a^1=415\text{Hz}$ とさせていただきます。

※上記に記載の無い楽器の方もお気軽にお問い合わせください。

※パートは基本的に事務局で決めさせていただきます。ご希望がございましたらお知らせください。

♪ プレ講座 (レクチャー)

募集人数／20名程度

時 間／11:00～12:00

受 講 料／1,000円 (合奏講座受講者は無料)

※主に初心者を対象に、本講座の前にバロック奏法等の基礎を学びます。楽器を演奏されない方も歓迎です！

初めての方も
安心！

♪ 聴講 (合奏講座のみ) 2,000円

2024年10月19日(土)

会 場：スタジオ・フィオーレ

(地下鉄東山線『中村公園』駅下車2番出口より徒歩1分)

アンジュパティオ中村公園 8F



講座概要

器楽合奏講座第6回は、フランスの作曲家マラン・マレの「トリオ・ソナタ ハ長調」を取り上げます！マレはヴィオール（ヴィオラ・ダ・ガンバ）の名手としても有名で、ルイ14世の宮廷ヴィオール奏者に任命されました。後年はオペラを含めた作曲家、指揮者、ヴィオールの教育者として優れた名声を残しました。今回取りあげる「トリオ・ソナタ」は、上2声と低声部合わせて3パートでなる曲ですが、いろいろな楽器や通奏低音で大規模に演奏されました。フランス・バロックの優雅で華やかな音楽を演奏してみませんか？

<プレ講座>

プレ講座では実際に音を出してみる前に、楽曲のスタイル、解説、そしてそれを実際にどのように演奏するかを講師がレクチャーします。

<合奏講座>

いよいよ実践！みなさんで楽器を持って実際に演奏をしてみましょう。弦楽器の楽器と弓はモダンで構いません。使用される弦もガット弦でなくて大丈夫ですが、ピッチは現在の標準ピッチより半音低い $a=415\text{Hz}$ とさせていただきます。バロック時代の演奏習慣、舞曲の性格などを踏まえていきいきとした演奏を目指しましょう！

過去の様子

【受講者の声】

- ・いろいろな多くの楽器の中で演奏できてよかった。
- ・合奏曲についてあまり詳しくないので、逆に講座が知る機会になっています。

(2023年10月、2024年4月)



【お申込み締切】 2024年9月19日（木） ※先着順。締切日前でも定員に達し次第締め切ります。

- ◆申込書にご記入の上郵送またはFAXにてご送付いただくか、協会HP内お申込みフォームからお申し込みください。
- ◆お申し込み受付後、確認メールをお送りします。受講料は確認メール記載の方法にてお支払い下さい。
※お申し込み後5日以内に返信が無い場合は、お手数ですがお電話にてお問い合わせください。
- ◆楽譜は事務局より送付いたします。申し込み時に印刷譜（郵送。送料1,000円）かPDF（メール送付。送料無料）をご選択ください。郵送後にPDFに変更は承ることができません。
- ◆締切日までのキャンセルにつきましては、手数料500円と送料を除いた全額を返金いたします。締切翌日以降につきましては、10月5日（土）までは受講料の15%、10月12日（土）までは30%、10月17日（木）から前日までは50%、当日及び無断キャンセルは全額のキャンセル料を申し受けます。
- ◆合奏講座は聴講可（公開）です。ご了承ください。
- ◆譜面台は各自でお持ちください。
- ◆会場に駐車場はございません。公共交通機関、または近隣のコインパーキングをご利用ください。
- ◆当日の写真は協会HP、会報、Facebook、X（旧Twitter）に掲載予定です。掲載を希望されない方は事前にお知らせください。
- ◆その他ご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

器楽合奏講座 受講申込書

♪ 受講希望講座 ※希望されるもの全てにチェックをお付ください。

【HPからのお申込みはこちら】

【プレ講座】 受講 【合奏講座】 聴講 受講



♪ ふりがな 氏名 _____

♪ 住所 〒 _____

♪ メールアドレス _____

※添付ファイルを受信できるアドレスをご記入ください

♪ ☎ (_____) _____ ♪ 携帯 (_____) _____

♪ 演奏(受講)楽器 _____ レベル：初級・中級・上級 経験年数 _____ 年

(和声楽器の方のみ)

♪ 数字付き低音の演奏 【 可能 ・ 不可能 】 経験年数 _____ 年

♪ 楽譜の送付方法 【 PDF をメールで送付(無料) ・ 印刷譜を郵送(1,000円) 】

備考 (ご質問などございましたらご記入ください)



高橋 弘治 (チェロ)

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。2001年から07年まで「ラ・ブティック・バンド」のメンバーとして演奏活動を行う。2007年に帰国。2011年より古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』の中心メンバーとして活発な演奏活動を展開。ソロ活動として「J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲」全曲演奏会（全3回）を鶴見区民文化センターサルビアホール（横浜）、西方音楽館（栃木）にて開催。「鶴見de古楽」シリーズにてバロック時代のチェロのレパートリーを発掘するべく毎年リサイタルを開催する。2022年1月には東海バロックプロジェクト10周年コンサートにてG.Fr.ヘンデル「メサイア」全曲演奏会において指揮・音楽監督を務めるなど、活発な演奏活動を行っている。



片岡 博明 (リコーダー／フラウト・トラヴェルソ)

名古屋大学卒業。フルートを故野村勤氏に、フラウト・トラヴェルソを故中村忠氏に師事。これまでにB. クイケン、M. アンタイ、K. クラーク、M. ガッティの各氏に指導を受ける。2016年に参加した東海バロックプロジェクト主催のバロック・オペラ「ポッペアの戴冠」が名古屋ペンクラブ賞を受賞。岐阜県高山市で毎年開催される夏期セミナーの講師を務めるなど、後進の指導にも当たっている。現在、ヤマハPMSフルート科講師。名古屋バロック音楽協会会員。CD「G. Ph. テレマン/フラウト・トラヴェルソの為の12のソロ」をリリース。



荻野 美和 (ヴァイオリン／ヴィオラ)

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ザルツブルグ モーツアルテウム音楽院、スイス ルツェルン音楽院マイスターコース受講。古楽器に興味を持ちバロックヴァイオリン、古楽奏法の勉強を始める。スペイン・ダロカ国際古楽アカデミーに参加、フランソワ・フェルナンデス氏に師事。2006年バロックヴァイオリンリサイタルを開催、名古屋市民芸術祭公演に採択される。現在、東海バロックプロジェクトメンバー、バッハアンサンブル名古屋トレーナー 他、愛知県を中心に演奏活動、指導を行っている。



鎌田 茉帆 (チェンバロ)

名古屋市出身。東京藝術大学音楽学部チェンバロ専攻卒業、同大学院古楽科修士課程修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生。ストラスブルグ音楽院 Clavier Anciens 科 Spécialisation コースを卒業。これまでにチェンバロ、通奏低音を辻本彩、大塚直哉、廣澤麻美、アリーン・ジルベライシュ、ベンヤミン＝ヨーゼフ・シュテーンスの各氏に、クラヴィコードをベンヤミン＝ヨーゼフ・シュテーンス氏に、バロック・オルガンをマルタン・ジェステル氏に師事。2019年まで八ヶ岳高原音楽堂専属チェンバリストを務めたほか、様々なオーケストラと共演。



【お問い合わせ】

〒474-0026 大府市桃山町1-4-5 片岡方 名古屋バロック音楽協会事務局

e-mail: info@nagoya-baroque.com

tel & fax: 050-3346-1168 (片岡)

公式HP: <http://www.nagoya-baroque.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/NagoyaBaroque/>

X(旧Twitter): <https://twitter.com/NagoyaBaroque>